

情報処理安全確保支援士

難易度完全解説

合格率データと戦略で射程圏内に

合格率 20% の正しい読み方と最短合格ロードマップ



合格率 20% って無理でしょ…

戦略で射程圏内に入れる





セキュリティプロ・フリーランス

登録・利用 完全無料



最高月収150万円

月額80万円以上の案件が

80%以上を占める高単価



リモート率80%以上

フルリモート対応可能案件多数

自由な働き方を実現



専門特化サポート

セキュリティ領域に精通した

専任エージェントが伴走



フリーランス案件マッチング

- ✓ 高単価案件から長期安定稼働の案件まで多数保有
- ✓ 脆弱性診断、SOC構築、ゼロトラスト導入など幅広い専門案件
- ✓ 面倒な営業活動・単価交渉・契約手続きは全て代行



キャリアサポート

- ✓ 業界に精通したエージェントがあなたの市場価値を最大化
- ✓ 独立支援（会社員から個人事業主、法人設立までサポート）
- ✓ 定期的な技術情報共有会、起業支援パックの提供



支払サイト

月末締め翌月払い (30日サイト)



案件参画スピード

2週間～1カ月程度

詳細を見る →

● 試験の3科目構成と合格基準



午前Ⅰ・Ⅱ（四肢択一）

各60点以上が合格基準。午前Ⅱは過去問から再出題が多い



午後（記述式）

150分の記述式。4問中2問選択でシナリオ読解が必要



合格の鉄則

午前免除制度を活用し午後対策に学習時間を集中させる

● 旧セキスペと何が違うのか

旧セキスペ

試験合格のみ

- ・ 名称制限なし
- ・ 維持要件なし
- ・ 法的裏付けなし

VS

情報処理安全確保支援士

名称独占資格（登録制）

- ・ 登録者のみ名乗れる
- ・ 3年周期の講習必要
- ・ 士業的位置づけ



重要な差



官公庁・金融の入札で RISS 配置が要件化されている

● 合格率 20% の正しい読み方



見かけ合格率：約 20%

受験者ベース 19 ~ 22% で推移。令和 6 年秋期は 15.1% と低下



実態の体感合格率

応募者の 35% が当日欠席。対策済みの体感合格率は 30 ~ 40%



本質

しっかり対策した人の実質ハードルは「5 人に 1 人」より低い

● 難化の正体——範囲の拡大



新出の頻出トピック

ゼロトラスト・コンテナ・サプライチェーンが頻出に



出題形式の変化

記述式 2 問選択に改変済み。深い理解と論述力が求められる



対策の核心

基本原則（CIA・多層防御）を軸に新トピックを理解する

● 情報処理安全確保支援士 vs CISSP

情報処理安全確保支援士

国内志向に最適

- ・ 受験要件なし
- ・ 日本語・受験料 7,500 円
- ・ 官公庁・金融で高評価

VS

CISSP

グローバル志向向け

- ・ 実務経験 5 年必要
- ・ 英語・受験料約 11 万円
- ・ 外資系・海外で高評価



推奨順序



まず SC で国内信頼を固め、その後 CISSP を検討する

● 難しいと言われる 3つの理由



午後の記述式

シナリオ読解 + 因果記述が必要。知識だけでは解けない



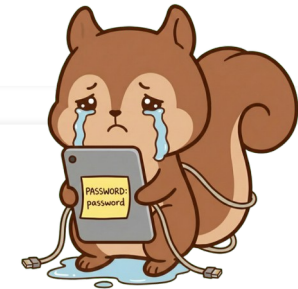
広大な出題範囲

技術・管理・法律の3領域。毎年新トピックが追加される



独学の継続困難

200 ~ 600 時間を継続。採点基準不明で実力把握が難しい



3つとも対策可能。正しい順序と方法で取り組めば合格は現実的な目標

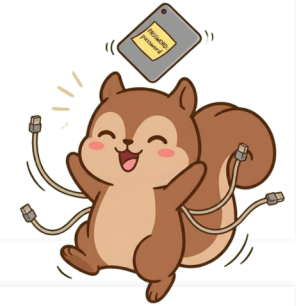


● バックグラウンド別の目安勉強時間



応用情報合格レベル

200 ～ 300 時間 ・ 4 ～ 6 か月。平日 2 時間 × 5 か月で到達



基本情報合格レベル

300 ～ 400 時間 ・ 6 ～ 8 か月が目安。基礎から積み上げる



配分の鉄則

午前 3 割 ・ 午後 7 割。午前 II を速く終わらせて午後に集中する

● 午後試験を突破する実践テクニック

1

設問先読み法

問題文より先に設問を確認し注目箇所を絞ってから本文を読む

2

因果構文で記述

「～ため」の構文で問題点→原因→影響の流れを書く

3

大問 75 分厳守

1 問 75 分の時間管理で過去問 2 周。出題パターンを習得する

4

誤答の原因分析

間違えた問題の「なぜ」を深掘りし同パターンで必ず正解する

反復した奴が受かる試験だ



● 取得後の年収・資格手当の実態

資格手当・報奨金



月額手当

5,000 ～ 30,000 円 / 月。大手 Sler は上限が高い



合格時一時金

50,000 ～ 200,000 円。高度区分の中でも上位



RISS 追加手当

10,000 ～ 50,000 円 / 月。登録維持者に追加支給

転職・フリーランス年収



事業会社セキュリティ部門

500 ～ 750 万円



コンサルティングファーム

700 ～ 1,000 万円超



フリーランス (月 80 ～ 150 万)

年収 960 ～ 1,800 万円

投資対効果最大



● 合格後のキャリアパス



SOC ・ CSIRT ・ ペネテスター

セキュリティ監視・診断・対応。経験3年でフリーランスも視野



コンサル・アーキテクト

戦略策定・リスク評価・設計が主業務。高年収ポジション



資格の本質的価値

名称独占で社会的信頼を可視化。応募できる案件の幅が広がる

● まとめ | 正しく対策すれば射程圏内に入る試験



合格率 20% は怖くない。対策済みの体感合格率は 30 ~ 40%。IPA 高度区分で最初の一步に最適



午後記述式が最大の壁。過去問 5 年分 2 周 + 設問先読み・因果構文で突破する



取得後は年収 500 ~ 1,800 万円レンジへ。セキュリティ人材不足で市場価値は上昇中

NEXT ACTION

まずは市場価値の無料相談・登録

[セキュリティプロ・フリーランス >](#)

